

九州ラグビーフットボール協会会長・森重隆氏、

2019年W杯日本へパッションで人気定着を

産経新聞 9月30日(水)7時55分配信 (写真:産経新聞)



九州・沖縄の468チームが所属する九州ラグビーフットボール協会の会長に、全盛期の新日鉄釜石や日本代表の主将を務めた森重隆氏(63)が今年7月、就任した。ラグビーワールドカップ(W杯)イングランド大会を現地で観戦し、今月19日の南アフリカ戦勝利を見届けた愛称「ヒゲモリ」は、九州も舞台となる2019年W杯に向けて「英国での熱狂を九州で再現する」と意気込んだ。(九州総局 奥原慎平) ゴルフ仲間や明治大ラグビー部後輩と南ア、スコットランド戦を観戦しました。南ア戦勝利の瞬間、目の前で起きたことが信じられなかった。生きているうちに、南アに勝利するなんて思わなかった。大声援の中、もう涙、涙ですよ。「ホテルで寝とく」と言っていたラグビーを知らない友人も一緒に泣いた。

3点差のついた最終盤、南アの反則に同点狙いのペナルティーゴール(3点)かと思ったが、日本は(成功率は低くても逆転可能な)スクラムを選択し、見事逆転した。勝利への執念はすごかった。

あの試合をテレビで見て、ラグビーに興味を持った人は多いでしょう。このラグビー熱、そして紳士のスポーツであるラグビー文化を、どう継続して九州に根付かせていくか。2019年に向けた課題です。

幸い、九州は福岡や長崎をはじめ、就学前から通えるラグビースクールが多い。ラグビーの面白さ、つらさを指導する教育者もそろっている。あとは、九州にも花園（大阪）や秩父宮（東京）のようなラグビー

専用競技場がほしい。（ここ8年で5回の優勝を果たした）東福岡高校のように、競技レベルが高いんだから、行政にはぜひ、実現してもらいたい。W杯の開催都市には福岡、熊本、大分が選ばれている。

九州協会のトップとして、福岡会場のレベルファイブスタジアムなどを満員にするのは当然。ファンを増やして、地域が一丸となって応援する空気を作ります。今後、行政関係者や商工会議所のメンバーらと具体的な計画を練ります。行政のトップを本気にさせるのも僕の役割です。

福岡県知事の小川洋氏は南ア戦の後、「最高のゲームでした。感動しました」と僕にメールを送るほどのラグビー好きです。福岡市長の高島宗一郎氏にも今日（29日）面会して、協力を訴えました。

課題は何といても、九州協会に金がないことです。関東や関西の協会に頭が上がらない。

ラグビー日本協会の関係者に「福岡で（8月22日に）開催したウルグアイ戦は1万人を超えたよ」と自慢したら、「秩父宮のウルグアイ戦も1万人行きましたよ」と返されました。当然ですよ。だって、東京は人口が多いし、人気チームも多いんだから（笑い）ただ、こんな風に冗談めかして、関東や関西の協会に言いたいことを言える人間は僕くらいでしょ。それも九州協会の会長選出の理由だと分かっています。

日本協会の副会長にも就きました。今年3月、日本協会で、前会長の森喜朗・元首相から就任を求められた。「九州協会長になるんです」と断ったけど、「地域の協会が連携しなければいけない。そのためには関東か関西、九州の協会長が、（日本協会副会長に）なることになっているんだ」「（そうだっけな？）」

「今、俺が決めたんだ」。強引ですね（笑い）。僕はラグビーでもなんでも理論ではなく「気持ち！とにかく気合！」というタイプです。パッション（情熱）を持って、会長職を務めていきます